

雨野さん、坂本さん、蒲原さんの作品展を見て

2月に蒲原さん(電気 38年)が事務局長をされている美術団体「等迦会」、3月に坂本さん(電気 34年、前会長)の絵画グループ展、4月に雨野さん(電気 34年)の写真集団「満月クラブ」の作品展を取材してきました。

◆蒲原さんの「等迦会」は、全国に支部のある歴史の古い会で、毎年乃木坂の「国立新美術館」で開催されています。いまは事務局長をされており、お忙しそうにされていました。作品は「アヨロ海岸」、海をテーマにした作品を描きつづけています。毎年「等迦会」開催に合わせて、関東在住の同期(38年電気)が集まり、クラス会をされているようです。

◆坂本さんは、加盟していた美術団体を気楽に楽しもうと仲間7人で「親美会」を立上げ、東上線志木駅にある「にいざほっとぶらざギャラリー」で毎年開催されています。気の合った仲間集団、作者が丁寧に解説してくださいました。今年は作品の展示などを工夫されていました。

◆雨野さんは、地元仲間と20年近く活動されており会長さん。毎年2回開催し、今回は46回目です。雨野さんの力作は東京湾アクアライン「海ほたる」の技術資料館(うみめがね)に、10年前に羽田側から写した写真を寄贈し、今もパネルが展示されています。今年新たに撮影し、寄贈する予定だそうです。東京湾アクアラインを利用する際は、ぜひお立ち寄りください。

川越は「小江戸」と呼ばれ、名所史跡の多いところ。また「霞ヶ関」駅前に、今年箱根駅伝に初出場した「東京国際大学」がありました。

苦工卒業者の中には隠れた芸術家がたくさんおられると思います。ぜひご存知の方はご紹介ください。

なお、雨野さん、坂本さん、蒲原さんの作品紹介の写真は筆者デジカメを持っておらず、ガラケーでの撮影で鮮明でないところがありますがお許しください。

【写真紹介】

◆蒲原さん⇒ライフワークで海の見える風景を追い続けており、今年の作品は「アヨロ海岸」です。

坂本さん⇒坂本さんの力作です

雨野さん⇒作品をバックに

記:駒米 隆

(作品)



ライフワークの海に見える風景 (蒲原勝美さん)



作品会場風景 (坂本敏弘さん)



作品をバックに (雨野勝彦さん)